

市政のここが聞きたい

6月定例会市議会は、6月8日、11日の2日間にわたり9人の議員が一般質問を行いました。その質問の中から、1人2質問まで要約して掲載しました。

なお、詳しい内容をお知りになりたい方は、市立図書館などで6月定例会市議会会議録（9月上旬発行予定）をご覧になるか、インターネットで検索してください。

赤澤 康 宏

職員採用について

問 行政改革大綱に基づき、平成18年3月に策定された総社市定員適正化計画により職員の退職者数に対して補充を1割以内とし、職員数の抑制を行っているが、新採用がない年もあった。このままで、本間に市民が住みやすい総社市が成り立つのか不安を感じる。長期にわたり職員採用を抑制した場合、将来市の組織や業務に支障が出てくるのではと思うがどうか。

答 職員採用については、平成18年3月31日策定した総社市定員適正化計画により、今後10年間退職者数に対して原則十分の1補充とし、正規職員の目標を460人以下にすることになっている。健全財政を守る上ではやむを得ないことと考えており、御理解を賜りたい。将来の業務に支障が出るのではとのことですが、例えば介護保険、障がい者自立支援の支援策、

事務所の分散化について

問 市役所庁舎が地震で崩壊のおそれがあるとき、災害対策本部を消防署に置くとなっているが、



建物の有効利用が考えられる清音支所

答 市役所庁舎の耐震については問題がある。地震があると何らかの被害が想定される。その場合には、災害対策本部を新消防庁舎に設置することで、災害の場合支障なく対応できるものと思っている。清音支所の活用については、前向きに検討していきたい。例えば教育委員会という御提案があったが、非常にいいアイデアと思う。教育委員会ともよく相談させ

秋山 律 郎

救急医療施設について

問 救急医療施設は市民の方の強い要望であるが、3月定例会市議会において早い時期に計画のとりまとめを行う予定としているが、3月議会からすでに3月が経過している。その後何ら計画、状況報告等の具体的提案もない。医師会の協力的なこの救急医療施設整備は不可能であると思う。現在の進捗状況及び協議状況はどうなっているか。また、今後のタイムスケジュールをどのように考えているか。

答 昨年12月議会で医療ビレッジ構想について、いろいろ御指摘をいただいた。議会、医師会からいろいろ御批判の声があったので、吉備医師会を軸として、医師会の声はもちろん議会の方からもいろいろ対案を示していただき、計画を定めてまいりたいと申

職員定数管理について

問 総社市定員適正化計画によると、平成17年度から10年間で職員数を460人以下とすると定めている。退職予定人員の1割を補充するとしているが、団塊世代の大量退職期を迎え、極端な採用を抑制することが、本間に正しい姿と言えるのか。また、消防職員の例をとってお尋ねする。近年消防に対する各



火災時の救助訓練をする消防署職員

し上げた。吉備医師会の方で検討委員会を立ち上げるとお聞きしている。早急に検討委員会を立ち上げていただき、救急医療体制について協議をしてみたい。今後のタイムスケジュールであるが、医師会における検討委員会の御意見を聞き、議員の皆様とも協議を進め、その上で計画を定めてまいりたい。（市長）

答 分野における国民のニーズの増大とともに、災害等に対応する体制整備が強く求められている。国の消防力整備指針に対して、本市の充足率はどのくらいか。定員適正化計画の460人体制は、消防職員は別枠か。消防職員を何名確保する必要があるか具体的な数字はいくらか。

答 定員適正化計画については、健全財政を守る上ではやむを得ないことと考えている。歳出の最

大の項目が人件費であるので御理解いただきたい。消防職員については、救急医療体制も含めて市民の要望にこたえるだけの最低人員を確保しなければならぬが、消防職員も定員適正化計画の中に含まれている。（市長）

答 平成17年度消防庁が指針に対する充足率は、基準人数162人に対して現職員数103人で63・5％となっている。（消防長）

このほか、指名、入札、契約に関する事務の副市長への委任及び職員採用試験について質問をしています。

村木 理 英

救急医療体制の整備について

問 救急医療体制は、初期、2次、3次救急医療体制と大きく分けられるが、総社市は今どのような方向で救急医療体制をつくっていくようとしているの

答 救急医療体制の充実には、市民の強い要望であり、医師会において委員会を

か。現在の救急体制、救急車の配備の問題、市外搬送件数等の現状はどうか。今後の総社市の救急体制の課題は、3次救急医療体制の高度な施設を持っている病院とのタイムアップ等に取り組むべきではないか。

答 初期救急医療体制は、入院を必要としない比較的軽症な救急患者に対応する医療である。2次は原則手術や入院を要する救急患者に対応する医療施設であり、3次は初期及び2次で対応できない重篤患者を24時間体制で対応する医療施設となっている。初期救急医療体制の充実には、市民の強い要望であり、さらに休日、夜間体制に対応できるように、医師会を中心に考えていきたい。（市長）

答 総社市は救急車を4台保有している。本署に2台と各出張所に1台ずつ。救急車の出動件数は2263件。そのうち傷病



消防署職員による救命講習